

(自転車への装着例)

製品保証期間：
ご購入から1年間

MT-4000SF



本商品はパンニアラック対応のツーリング用フロントキャリアです。以下の説明を必ず読み、正しく装着してお使いください。本商品に装着できるパンニアラックのフック内径は10mmです。

<用語解説>

ナイロンナットとは・・・

ナイロンナットとは、ナットの一方にネジ穴径よりも小さな樹脂製のリングがはめ込んであり、ボルトがその中を強制的に進むことによって樹脂がネジ山を押さえ付けてボルトの緩みを防止する構造のナットのことをいいます。

ボルトをねじ込んでいく際に先端がこのナイロンリングに接した途端、急にねじ込む力が重くなるのは正常です。そのまま強くねじ込んでいってください。

なおボルトはナイロンリングのない側からねじ込んでいきます。

ボルトサイズの表記・・・

M6x18 などというボルトサイズ表記は、ボルトのネジ下部分の寸法（ネジ径×頭の下から先端までの長さ）のことをいいます。アプセットやキャップなどというのは、ボルトの頭の形状のことをいいます。

! 重要なお知らせ

本商品の装着には、重要保安部品である前輪クイックリリースの付け外しを要します。もし本商品の装着が不完全だった場合には、走行中に外れて前輪に巻き込み、大きな事故につながる恐れがあります。

本商品の装着は必ず必要十分な技能と知識を持った自転車整備士にご依頼ください。もしご自身で行なった場合に万一装着手順の不手際などにより事故等が発生したとしても、弊社はその結果に対し一切の責任を負いかねます。

直径 38 ~ 40mm の真円断面の正立式フロントサスペンションフォークにのみ装着できます。倒立式サスペンションフォークには装着できません。

リジッドフォークへの装着は推奨しておりません。ご自身の責任において行なってください。

本商品の最大搭載荷重は 15kg です。

お問い合わせ先

<販売元> 株式会社 フカヤ

〒 460-0015 愛知県名古屋市中区大井町 1-37-3F

Phone: (052) 228-8910 / Fax: (052) 228-8917

Web: www.fukaya-sangyo.co.jp

<製造元> 株式会社 箕浦

〒 503-2305 岐阜県安八郡神戸町神戸 1197-1

Phone: (0584) 27-3131 / Fax: (0584) 27-7505

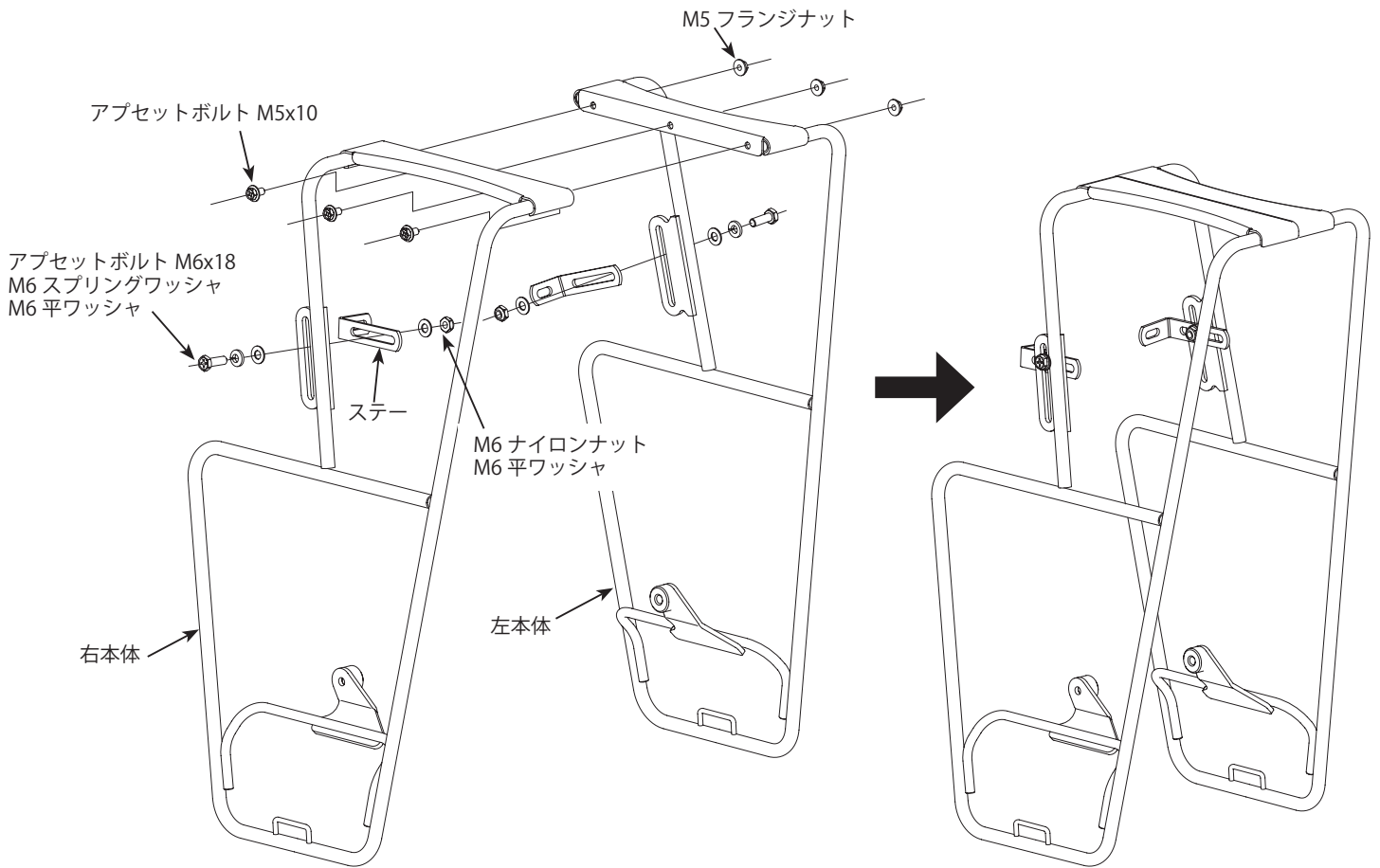
Mail: minoura@minoura.jp / Web: www.minoura.jp

日本製

組立に必要な工具

M4 六角レンチ、 8mm ソケットレンチ (x 2)、10mm ソケットレンチ、10mm スパナ

- 1** まずはじめに左右の本体を組み合わせてから、前フォーク保持ステーを取り付けておきます。ステーはあとから位置を調整しますので、まだ仮止めのままにしておきます。



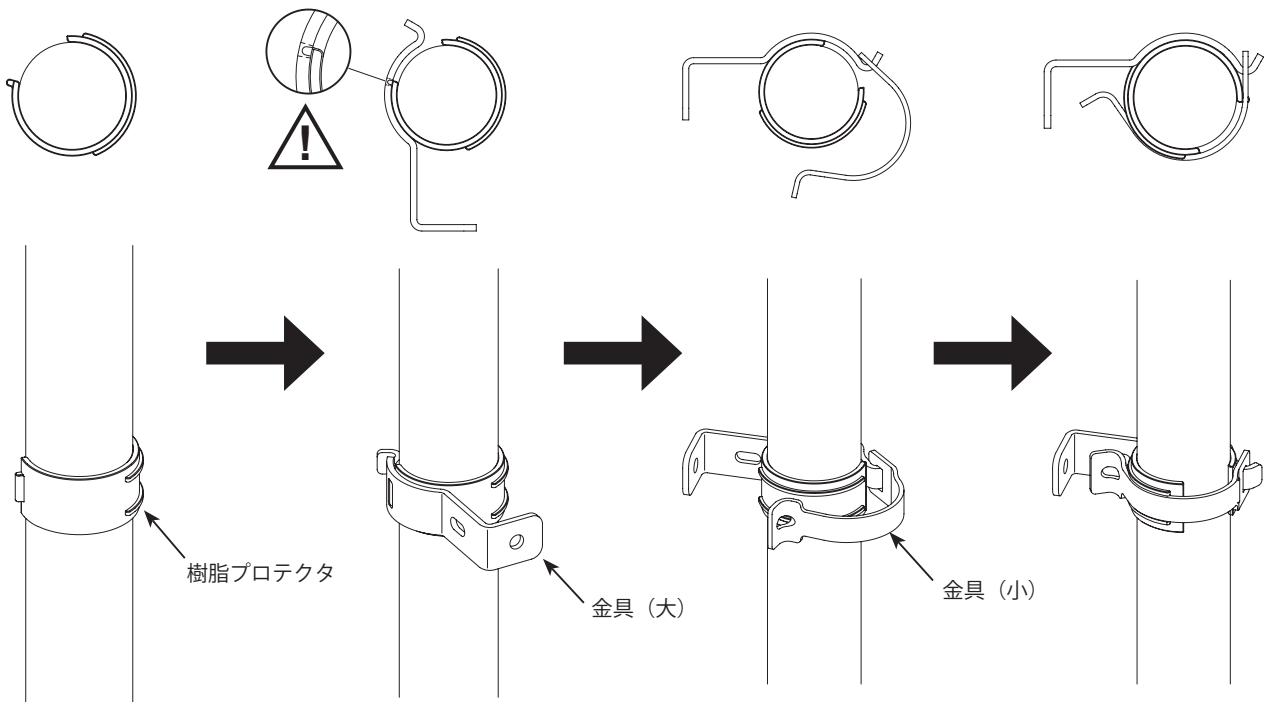
- 2** キャリアの取付バンドは前輪クイックからおおよそ 250mm の高さの位置に取り付けます。前フォークのボトムケースパイプに樹脂製プロテクタを巻き、その上からバンドを取り付けます。(下図は右側フォークに取り付ける場合の部品の向きを示しています。左側の場合はそれぞれ逆向きになります)

まず樹脂プロテクタを、2本のリップが向かって右側になるような向きで巻きます。

バンド (大) をプロテクタの左側に当てます。金具の孔にプロテクタの突起が収まるようにします。

その状態のままバンド (小) をバンド (大) 先端のフック部に掛け、フォークパイプを巻くようにします。

バンド (小) をプロテクタの2本のリップの間に置きます。そのまま押さえて持ってください。

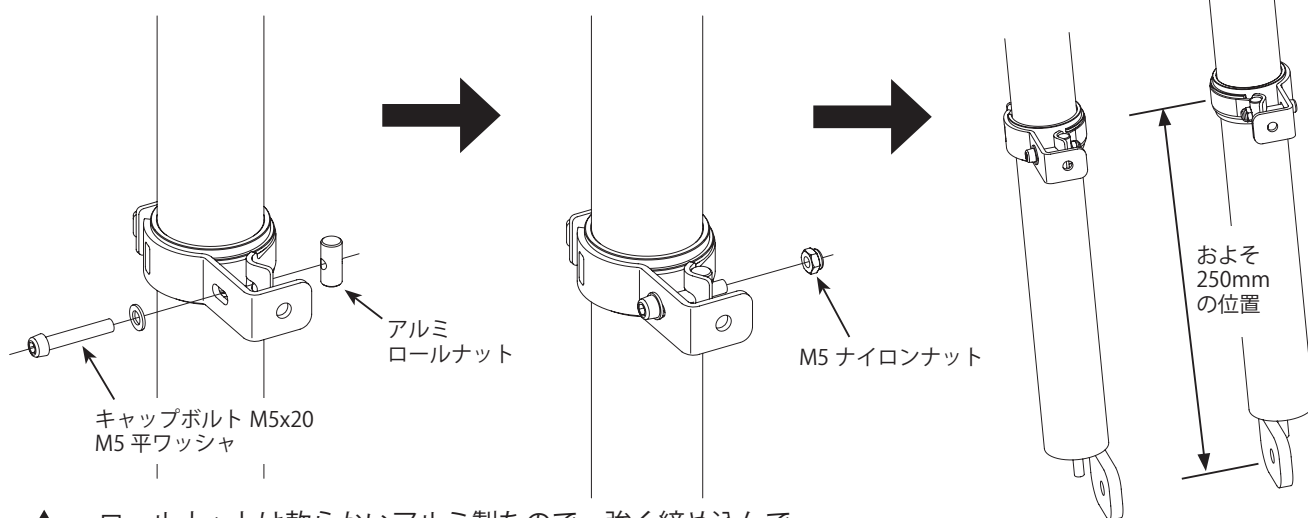


3

平ワッシャを通したキャップボルト M5x20 を金具 (大) の外側から差し込み、アルミロールナットにねじ込みます。
(締め付けトルク: 1.5 N.m)

M5 ナイロンナットをソケットレンチでねじ込んで固定します。
(締め付けトルク: 3 N.m)

完成状態



ロールナットは柔らかいアルミ製なので、強く締め込んでねじ切ってしまうように注意してください。

4

前輪のクイックリリースを添付の長いものに交換してキャリアを保持します。
続いてステーを取付金具に取り付けていきます。
ステーを止めているボルトを緩めて、キャリアの天板が水平になるように調節してから本締めします。

最後にクイックを正しい手順で締め付け直して装着は終了です。



本キャリアは鉄できていますので、ぶつかけたりして塗装を剥がしてしまうとその部分から腐食(サビ)が始まり、著しく強度を落とすこととなってしまいます。
サビを見つけた場合は速やかにサンドペーパーなどで削り取りタッチアップペイントで補修してください。
特に沿海部での使用するには細やかなメンテナンスが必要です。

輪行する場合は必ず前フォークから本キャリアを取り外しておいてください。

